

令和7年第21回議員定数等調査特別委員会 要点記録

開閉会日時	令和7年11月4日（火曜日）				開会	13:03		会議場所		別海町議会 委員会室 1	
					閉会	14:44					
委員の出欠	1 番	市川 聖母	出席	2 番	吉田 和行	出席	3 番	高橋 眞結美	出席		
	8 番	田村 秀男	出席	9 番	小椋 哲也	出席	11 番	今西 和雄	出席		
	12 番	松原 政勝	出席	13 番	中村 忠士	出席					
委員外の出席									合計	0名	
事務局職員	局長		入倉 伸顕		主幹		木幡 友哉		合計	2名	
傍聴者数	一般		0名		報道関係者		0名		合計	0名	

会議に付した事件及び会議結果など

発言者			会議経過
委員長	12番	松原	13:03 開会
			出席委員8名、欠席委員0名、委員外0名、会期1日 開会挨拶
委員長	12番	松原	議事1 調査事件全件の総括
事務局	主幹	木幡	<p>・まず、報告書素案の内容について説明する。</p> <p>本報告書は、最終的に3月定例会で使用予定なので、本日すべての内容を決定するわけではない。今後の町民意見の聴取や調査などの動きに応じて加筆修正していくことになる。</p> <p>調査経過については、今後、全ての調査が終わり次第、改めて精査する。</p> <p>調査結果については、掲げられた付託事件の順に結果を記しており、(1)本町における適正な議員定数に関する事項、(2)本町における議員の報酬に関わる事項、(3)常任委員会の委員会数や名称、所管事項等に関わる事項、(4)その他議会活性化に資する事項として、ア政務活動費、イ議員のなり手不足に関する調査、ウ議会運営委員会の編成論議の順で整理している。</p> <p>最後に、委員会の総括として全体のまとめを行っている。</p> <p>ここまでの内容で確認事項が3点ある。</p> <p>1点目、全国町村議会議長会が決議で示す「市長に対する市議会議員の報酬割合47%相当を目指す」といった内容に本報告書では触れていないが、これに言及する必要はないか確認したい。</p> <p>2点目、広報・広聴常任委員会の各小委員会の構成について、現状、重複なしの各7名を前提として記載しているが、未協議であるため、この内容でいいか確認したい。</p> <p>3点目、2委員会においては、議長を除き各7名となるが、議長の委員会所属に関する条例上の表記について、全議員必ず2委員会に所属し、議長は辞任できるといった現行の規定をそのまま残し、任意辞任の中で取り扱うのか、または、初めから議長は委員会に所属しないとするのか方向性を決めておきたい。</p> <p>次に対外説明用に要約した「これからの別海町議会の在り方に関する調査結果の概要」という資料を用意した。</p> <p>これは、議会内部への説明に使用する予定であるが、地域めぐり懇談会でも使用したいと考えていることから、町民向けに不要な部分を削るなど、よりコンパクトにしたいので、どこを残すか、あるいは削るかの意見を後ほど伺いたい。</p> <p>・まず全国町村議会議長会の決議内容に関する言及について意見はあるか。</p> <p>・単純に市長に対する市議の報酬割合47%を目指すということではなく、議会</p>
委員長	12番	松原	
委員	9番	小椋	

令和7年第21回議員定数等調査特別委員会 要点記録

		活動量を増やすことがセットなので、書くとしたらその両方を記載しなければならない。
委員	13番 中村	・そのとおり単純な内容ではなく、本文には入れないほうがいいと思う。 仮に書くとしたら誤解を招かないように丁寧に説明する必要がある。
事務局	主幹 木幡	・補足だが、議長から、全国町村議会議長会の決議内容に近づけるように見直す余地はまだあるかと聞かれたが、1年間の調査結果に基づき報酬額を算定したので、今回算定した数字を変えるのは難しいと返答し理解してもらったところ。
		よって、事務局としても必ずしも報告書の中で言及する必要はないと考えている。
委員	9番 小椋	・市議相当を目指すというよりも、これまで10年スパンでしか報酬額の見直しを行っていなかったことで実勢と離れてしまっているため、報酬に関する協議の期間をもっと短くして継続的に調整していったほうがいいといった内容を記載できればいいと思う。
副委員長	8番 田村	・確かに10年に1回の見直しは長いので短くしたほうがいいと考える。なお、報酬の改定は改選期でなければできないということはないので、そのことも踏まえて考えていければいい。
委員長	12番 松原	・今出た意見を報告書の総括の部分に記載することとしてよろしいか。
委員	一同	・異議なし。
委員長	12番 松原	・次に広報・広聴各小委員会の編成について意見あるか。 案としては、各7名で正副委員長は一方に偏って所属しないとしている。
		・案のとおりに異議なし。
委員	一同	・後の規則等の整理のため、正副委員長は同一小委員会に所属しない旨、報告書に付記したい。
事務局	主幹 木幡	・異議なし。
委員	一同	・次に議長の委員会所属に関する条例上の規定について意見あるか。
委員長	12番 松原	・10人以下の少人数議会であれば議長が委員として活動する必要も出てくると思うが、現状、議長抜きでも必要人数の7名は確保できる結論となっているので、10年、20年は問題がないと考えることから、委員会に属さないとしていいと思う。
委員	9番 小椋	・地方自治法上では、必ず委員会に所属しなければならないルールはなくなって、条例で決めれるようになったが、現状の委員会条例では全議員が2常任委員会に所属することを前提として、議長は辞任できる規定になっている。
副委員長	8番 田村	その上で、自己判断で辞任しており、過去委員として残った例はないのであれば、初めから所属しない規定に変更したほうが分かりやすい。
		別件になるが、現状予算決算審査特別委員会に議長が加わっているが、特別委員会には議長は原則加わらないことになっているのでそこも整理したほうがいいと考える。
委員長	12番 松原	・その方向でまとめてよろしいか。
委員	一同	・異議なし。
事務局	主幹 木幡	・この報告書案の中では「議長は委員会に所属しない」と断言しているが、最終的には条例改正時に判断されると思うので、この表現で問題ないか。
		・この委員会としての結論なので、問題ないと思う。
委員	13番 中村	・ここでの結論はこうだったということで、議会運営委員会に引き継げばいい
委員	9番 小椋	

令和7年第21回議員定数等調査特別委員会 要点記録

			と考える。
委員長	12番	松原	・ 報告書案について、他に意見等あるか。
委員	13番	中村	・ 議員定数の16名維持について、町の予算規模からしても町民の意見を反映するためには現状維持が望ましいこと、これから議員の仕事が増えていく中で、人数が減ると一人に係る負荷が増えるといった理由から、少数意見としての留保をしたい。
			・ ただいま申出のあった少数意見の留保について、受けることとしてよろしいか。
委員長	12番	松原	・ 既に14名の案、15名の案、16名の案が出た中で、15名に決定したと記載してあるが。
副委員長	8番	田村	・ 意見として留保する選択肢もあると思うが、中村委員と同じ理由で、できる限り減らしたくないという思いは、15名を選択した委員も持っていると思うので、報告書の中でそのことについて丁寧に記載する方法もあると思う。
委員	9番	小椋	・ 報告書には、これまで何度も議論を重ね、採決を行った結果に基づいた委員会の総意を記すことでいいのではないかと個人的には思う。
			・ 少数意見の留保については、本会議においてそういった意見が出されたことに触れられないことを防ぐためだと思うので、もしそうなったとしたら極端に言えば、それを伝えるために本会議で反対討論せざるを得ないということになってしまう。正直に言うと、それを避けたいため、意見の留保を行いたい。
委員	11番	今西	・ 中村委員が言う、多様性の担保と負担の分散という点については、少数意見ではなく、皆同じ思いだと考える。
委員	13番	中村	その思いを踏まえた上で、結果的に15名を選択した委員が多かったということなので、その経過を報告書に記載することで中村委員の考えは示すことができるのではないかと。
委員	9番	小椋	・ 16名とする意見を留保することで、私は16名を選んだことを明記してほしいということなのか、16名の定数として考え直してほしいということなのか、知りたい。
			・ 後の議会で結論を出す際に、そういった意見が少数でもあったことを示したいということ。
委員	1番	市川	・ 先ほどから小椋委員が言っている、その旨を踏まえた上での採決結果であるとの記載ではだめなのか。
委員	13番	中村	・ そういった考えはなかったが、それぞれの意見の経過を記してもらえるのであればそれでいいと思う。
委員	1番	市川	・ 16名、15名、14名の意見があり、それぞれの考えがあった上での最終結果であると記載することでまとめることでよろしいか。
委員	13番	中村	・ 異議なし。
委員長	12番	松原	・ では、最終報告書の素案については、今協議したとおり本日中に整理して明日の議員間討議で使用するにとしたい。
委員	一同		なお、修正作業はラインワークスで行う。
委員長	12番	松原	議事2 その他
			(1) 町民意見の聴取方法について
委員	9番	小椋	・ 地域めぐり懇談会でアンケートを取りたいと考えている。併せて町の広報への折込と公式LINEによるアンケートも行いたい。
			・ 説明資料は見やすくコンパクトに1ページにまとめたほうがいい。

令和7年第21回議員定数等調査特別委員会 要点記録

委員長	12番	松原	<ul style="list-style-type: none"> ・それはそうだと思う。 ・アンケート項目は決まっているか。設問もあまり多いと答えるのが大変になるのではないか。 ・これから考えるが、町民が分かりやすく答えやすい内容にしなければならないとは思っている。 ・事務局としては、町民に議会運営委員会や常任委員会についてどう思うかと聞いてもよくわからないのではないかと考えるので、人数と報酬額に絞った内容にしてはどうかと思っている。 ・正副委員長間でもその2点に絞っていいのではないかという考えであり、資料もその部分を抜粋したものでいいと思っている。 ・活動日数などの報酬額の算定根拠は重要だと思うので資料に記載したい。 また、議会だよりの特集ページ「Let's go議会」も活動内容を伝える資料として有効ではないか。 ・二つに絞るのは賛成。たくさん聞かれても答えるのが大変。 できれば、報酬は中央値で算定したとか、各常任委員会ではこんな仕事をしているといったことが伝わる資料があればいい。 ・ペーパーでのアンケート回収方法は具体的にどうなるか。 ・議会だよりはタイミング的に間に合わないので、町の広報に折込をお願いすることになる。12月号に折り込むことになるが、期限的には今月の21日ごろまでに内容含め決定する必要がある。 ・地域めぐり懇談会、公式LINE、広報べつかいの3つ共通で使える内容にしたほうがいいと思うがどうか。 A4片面がアンケート、片面が資料、QRコードを付けて詳細資料はHPなどで確認できるようにしてはどうか。 事務局で手作りするには時間的に忙しいと思うので、外注できるならそうしては。あるいは議員で作成するか。 ・今出た意見を踏まえて事務局で案を作ってラインワークスで調整することによってよろしいか。 ・異議なし。 ・アンケート用紙を手作りするか、外注するかは追って調整する。 ・地域めぐり懇談会には「Let's go議会」の過去3回分も資料として使用したい。 ・了解した。 <p>14:20 休憩</p> <p>14:24 再開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後に、なり手不足対策については明確な結論を出せていないことから、改めて今後に向けて各委員の考えを聞いておきたい。 ・結局のところ、報酬増額はなり手不足対策としては有効。 また、条件面の整備も必要だが、広報・広聴活動が大事で、議会内部を知ってもらうことが何よりも重要。 具体的なプランとして強いて言うならば議員の学校の実行に向けた行動を促すことが考えられる。 ・地域代表議員という枠がなくなってきた現在では、やはり広報・広聴活動が重要になってくる。
委員	2番	吉田	
委員長	12番	松原	
事務局	主幹	木幡	
副委員長	8番	田村	
委員	9番	小椋	
委員	13番	中村	
委員	3番	高橋	
事務局	主幹	木幡	
委員	9番	小椋	
委員長	12番	松原	
委員		一同	
事務局	主幹	木幡	
委員	9番	小椋	
事務局	主幹	木幡	
委員長	12番	松原	
委員長	12番	松原	
委員長	12番	松原	
委員	9番	小椋	
委員	11番	今西	

令和7年第21回議員定数等調査特別委員会 要点記録

			<p>議員が選出されていない地域に出向いて行って意見を聞き取るのは大切であり、そういった動きがなり手不足につながると思う。</p> <ul style="list-style-type: none">・今の議会の現状だと、子育て世代や兼業の方、サラリーマンなどはなりにくい環境にある。やってみようかなと思うところまではいくが、現実的に環境面でハードルが高くて無理と判断されてしまう。 <p>報酬増額にも限界があるので、会議へのリモート参加や託児などの育児・介護などに対応した環境整備も必要になってくると思う。</p> <ul style="list-style-type: none">・今後、議会運営委員会などで協議する内容になるのでは。・この件については、継続調査としたので、今後特別委員会になるのか議会運営委員会になるのかは分からないが、いずれかの方法で改めて調査していく必要はある。 <p>・報告書のまとめの部分で、今でたような意見を示して、この特別委員会が解散した後も議会全体として新たな対策を取っていくような動きが必要であるといった内容で加筆することとしたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・ほかに何かあるか。・なし。・それでは、この後、報告書の内容精査とアンケートの作成について協力いただきたい。
委員	1番	市川	
委員	3番	高橋	
副委員長	8番	田村	
事務局	主幹	木幡	
委員長	12番	松原	
委員		一同	
委員長	12番	松原	
委員長	12番	松原	閉会挨拶
委員長	12番	松原	14:44 閉会